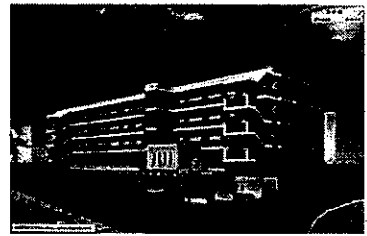


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	香村 武市 様 共同住宅新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京田辺市田辺勇田26-2,2	構造	RC造
用途地域	法22条地域	平均居住人員	96人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年2月14日
敷地面積	2,488㎡	作成者	小林 宏和
建築面積	707㎡	確認日	2018年2月15日
延床面積	2,203㎡	確認者	西尾 達也



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5
音環境: 3.0, 3.1, 3.1, 3.0	機能性: 2.5, 3.0, 2.8	生物環境: 2.0, 3.0, 2.5
温暖環境: 3.0, 3.1, 3.1, 3.0	耐用性: 2.5, 3.0, 2.8	まちなみ: 2.0, 3.0, 2.5
光・視環境: 3.0, 3.1, 3.1, 3.0	対応性: 2.5, 3.0, 2.8	地域性: 2.0, 3.0, 2.5
空気環境: 3.0, 3.1, 3.1, 3.0		

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3
建物外皮の: 4.0, 3.0, 5.0, 3.0	水資源: 3.0, 2.7, 2.7	地球温暖化: 4.0, 2.5, 3.0
自然エネ: 4.0, 3.0, 5.0, 3.0	非再生材料の: 3.0, 2.7, 2.7	地域環境: 4.0, 2.5, 3.0
設備システ: 4.0, 3.0, 5.0, 3.0	汚染物質: 3.0, 2.7, 2.7	周辺環境: 4.0, 2.5, 3.0
効率的: 4.0, 3.0, 5.0, 3.0		

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
室内環境・周辺環境に配慮した計画をしています		特にありません
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
日本住宅性能表示、5-1断熱等性能等級における等級4を満たす断熱計画をしています	外壁仕上げ材に耐用年数の長いものを使用しています	緑地帯を適切に設置することで景観や居住者の心証に配慮しています
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明の積極的な導入と住戸内給湯にエコジョーズを導入や太陽光パネルの設置などエネルギー排出量の削減に努めています	住戸内の仕上げをGL工法とし、比較的容易に躯体分別できるような計画にしています	適切な量の駐車・駐輪場を設置しています

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される